

11月に研究所内で行った作業等について簡単に紹介します。

ナガイモの掘り取り(スマート農業実証試験)



令和2年11月16日撮影(野菜研)



令和2年11月17日撮影(野菜研)



令和2年11月16日撮影(東北町)

野菜研究所では、スマート農機を使ったナガイモの栽培技術について試験を行っています。左上の写真は掘り取りに先だって行われる支柱抜きを専用の機械で行っている様子です。トラクタの後に装着した機械が自動的に支柱を抜き取っていきます。通常、数人がかりで重い支柱を抜き、運ぶ作業ですが、支柱抜き機を使うとオペレーター1人で速やかに作業を完了できます。

左中の写真は、自動操舵トラクタにセンター掘り機を付けて収穫を行っている様子です。このほ場ではトレンチャー耕を自動操舵トラクタで行っており、自動操舵に記録された位置情報に従って同じ植え溝を正確にセンター掘りしています。これにより、オペレーターは進行方向を気にすることなく、ナガイモの掘り取り具合だけに集中でき、疲労度が軽減でき、不慣れな人でも正確な作業ができます。

また、収穫したナガイモは運ぶ作業にも大きな労力がいらいます。左下の写真は野菜研が代表となり、おとべ農産合同会社が実施している「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」でナガイモの収穫作業実証を行っている様子です。収穫したナガイモをロボットトラクタが牽引するトレーラーで運んでいます。運搬に必要なトラクタをロボットとすることでオペレーターを1人削減でき、作業を効率化できます。

来年度、野菜研では運搬作業についてロボットトラクタに代え専用の運搬車を使った収穫・運搬作業体系の試験を行う予定です。

連絡先: 野菜研究所

Tel 0176-53-7171 Fax 0176-53-8934

Email nou_yasai@aomori-itc.or.jp